

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	BunBu学院Jr. 戸越園
所在地	東京都品川区戸越5-4-3 アズ品川ビル202

## 1 活動のテーマ

### 五感

<テーマの設定理由>

五感の中で、音楽は、自律神経系に作用したり、リラクゼーションなどの効果がもたらされます。同時に、心の状態にも影響を与え、感情、知覚、認知を活性化させると共に世界で共感できる芸術です。幼児期に音感やリズム感などを体験する楽しみを身に付けさせる。

## 2 活動スケジュール

子どもたちが日々のおやつなど集まった時間に音やリズムに触れさせたり、自由に体験できるような時間で、コーナーの設置をし、音の響き方、音階・音の伸びかた、伝達などを、自由に体感させていく。

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

電子ピアノ、鍵盤ハーモニカ、ハンドベル、バイオリン、木琴、鉄琴、ドラムセットなどを用い、音階やリズム感などを体験し、個々に探究できるように設定した。また、

## 4 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちは、楽器を実際に触れることも初めてであるが、叩く、揺らすなどという動作が一番し易い、ハンドベル、木琴、鉄琴、ドラムなどから、家にピアノなどがある子は、ピアノにも興味を示し、分からないことがある時には、保育士に声をかけ、自ら子どもたち同士で今は楽器というものを理解している状態です。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。  
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



## 5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

年齢的に中には繊細な楽器に触れさせる際に、サポートが必要であったが、iPadなどで演奏風景を見せると、子どもたちは真似ていました。子ども達にとって、初めて見る楽器を「自由に触れてよい環境」はとても魅力的だった。1歳以下の子については、大人がハンドベルや木琴、鉄琴など叩く様子から、音が出た時の驚き、何度か試す様子が見られました。また、楽器に対して興味が薄かった子も、楽しんで活動に参加していた。